

第 17 回災害対策本部員会議での知事の主な発言

1. 会議冒頭での知事の発言

- 14 時時点で、お亡くなりになった方が計 206 名となった。そして、昨日には、災害関連死の方が初めて確認され、その内数として、これまでで計 8 名となった。
- 岸田総理には、是非現地を視察していただきたいと思っており、天候の様子を見て、週末にはお願いしたい。
- 救助最優先で対応するとともに、災害関連死を食い止めるため、避難者の健康管理に細心の注意を払いつつ、陸・海・空のあらゆる手段を総動員し、1.5 次避難所（いしかわ総合スポーツセンター）などへの移送を急いでほしい。

そして、被災地の病院や福祉施設がパンクすることのないよう、看護師等の医療・福祉スタッフの支援・増強をお願いしたい。

- 1.5 次避難所では、本日 14 時現在で、累計 101 人を受け入れるとともに、2 次避難所であるホテル・旅館への移送は、小松基地に直送した方を含め、7 施設 182 人となっている。1.5 次避難所でどんどん受け入れて、その方々をどんどん 2 次避難所へ移送するこの流れを軌道に乗せたい。

そして、昨日、岸田総理への要望後、早速、緊急小口資金の特例措置を講じていただき、感謝申し上げます。これは対象範囲の拡大と、貸付限度額の拡大についての特例措置である。

これを受け、明日にも1.5次避難所への出張相談を開始するとともに、各市町社協でも速やかに受付を開始できるよう調整したい。被災者の健康管理はもとより、こうしたきめ細かな対応をお願いしたい。

- また、仮設住宅・みなし仮設住宅の財政的・手続的支援についても、昨日、岸田総理に要望させていただいた。

やむにやまれず、お住まいの市町以外の「みなし仮設住宅」に入られた被災者が、その後、被災地の仮設住宅に戻ることができるよう柔軟な対応を要請したところ、内閣府において、早速認めていただいた。

迅速な対応に感謝申し上げるとともに、被災者の皆さま方には、躊躇することなく、「みなし仮設住宅」への入居も選択してください。

- 先般ご案内したとおり、12日(金)に輪島市および珠洲市において、応急仮設住宅115戸を着工する。輪島市においては、農村ふれあい広場30戸、キリコ会館多目的広場20戸、珠洲市においては、みさき小学校グラウンド25戸、正院小学校グラウンド40戸において建設する。

- 昨日、政府には、被災者の当面の水や食料、避難所で使用するストーブや燃料などの物資を緊急輸送するため、47億円余の予備費支出を決定いただき、感謝申し上げます。

政府には、この次の段階として、道路や水道、通信などのライフラインの復旧をはじめ、被災者の生活支援のために、より一層の財政的支援をお願いしたい。

2. 会議最後の知事からの指示事項

- 国、県、市町、民間団体、NPO、関係機関と情報共有し、しっかり連携してプッシュ型で対応するとともに、被災地のニーズも多様化していることから、きめ細かな対応をお願いしたい。
- 孤立集落、あるいは要支援集落について、継続的に必要な支援をお願いしたい。
- 救助最優先で対応しつつ、避難所等で感染症が増えており、災害関連死を防ぐため、被災地の避難者の健康管理に細心の注意を払っていただきたい。
- 陸・海・空のあらゆる手段を総動員し、1. 5次避難所（いしかわ総合スポーツセンター）などへの移送を急いでほしい。また、現地の避難所から、金沢市、小松市、加賀市などへの個別の移送についても積極的なサポートをお願いしたい。こうした1. 5次避難所以外の運営についても、政府のご支援をお願いしたい。
- 1. 5次避難所の運営にあたっては、被災者に寄り添ったきめ細かな対応をするとともに、2次避難所とのマッチングも円滑に行ってほしい。
- さらにその次の段階として、応急仮設住宅の建設を促進してほしい。加えて、みなし仮設住宅や県内外の公営住宅へのマッチングを強力に進めてほしいので、分かりやすい積極的な広報をぜひお願いしたい。